本工業学を五十萬学程度に が計畫され転に今年度に於て が計畫され転に今年度に於て 開声が實現することとなつて 居るが更に現在の兼行學數地

ての設備を完成すべく目下研

ルサイユ條約侵犯なりとし間條項廢棄宣言に對する對策を

「パリ廿一日愛國通」フ

形となし夜間飛行用照明設備 攬張し 滑走路を整備して十字 周水子飛行場

設備大擴張計畫

歐亞連絡の基點ごなる

月 明明人 水越内之介 明明人 水越内之介 全告 调新 行用力 

## 政教刷新

建議案可

比如き建議案の提出を 事は君國の協向に遺憾 る、特に天皇機關説は 大なるものであると言

二十日貴 はならぬ情勢となつた、 で製成を求めて降増別に の養成を求めて降増別に が養成を求めて降増別に が養成を求めて降増別に が表しなりませる態 としても要さります。 院本會議

単であると言ふて居るが一本であると言ふて居るが、 を記り を記り を記り を主動をして力量してよいと思いて居るが、學説であると言ふて居るが、學説であると言ふて居るが、學説であると主語り を主動をとして力量に就ても悪影響あるものは之を抑止せればない。 を主動と思ふものであつて況が、 を主動ととを望んで降吸、 を記して土方塚氏へ和)天皇機 を記して土方塚氏へ和)天皇機 を記してもの質土と領土の重複を避けるが、私の第へによると表別であると を記して力が、本のであって況が、 を記して力が、本のであって況が、 を記して力が、本のであって況が、 を記して力が、本のであって記が、 を記して力が、本のであって記が、 を記して力が、本のであると を記して力が、本のであって、 を記して力が、本のであると を記して力が、本のであって、 を記して力が、本のでは、たい を記しての大島でいた。 を記して力が、たい を記して力が、本のでいた。 を記して力が、本のであると を記して力が、本のであって、 を記して力が、本のであると を記して力が、たい を記して力が、本のでいた。 を記して力が、たい を記して力が、たい を記して力が、たい を記して力が、本のであると を記して力が、たい を記して力が、本のであると を記して力が、たい を記して力が、たい を記して力が、まのでいた。 を記して力が、たい を記して力が、まのできって、記述、たい を記して力が、まのであると を記さるとまして力が、たい を記さると、まのでいた。 を記さると、まると、まので、までいた。 を記さると、まのでいた。 を記さると、まのでいた。 を記さると、まると、まので、までいた。 を記さると、まると、また。 を記さると、まると、また。 を記さると、まると、また。 を記さると、まると、また。 を記さると、また。 を記さると、また。 を記さると、また。 を記さると、また。 を記さると、また。 を記さると、まると、また。 を記さると、また。 を記さる。 をこる。 をこる。

「だいじょうぶよ! 職が、あ すて、簡単に云ひ養えんな奴の棚手になるもんですか と、 たい 一人 なびの棚手になるもんですか と、 たい 一人 ながら、 から 一人 ながらいます。 もら連れて行 「いや、さすがは高利さんの御人 うだからいます。 もら連れて行 「いや、さすがは高利さんの御人 うだからいます。 もう連れて行 「いや、さすがは高利さんの御人 からない しょう から では、 中上げませ

請

(H)

と述べ、綴いて二 荒芳 徳伯 ・ (研)登壇、外來思想の鄭を ・ 本連議案の主旨に依り善處され ・ 本連議案の主旨に依り善處され ・ 本連議案はその主旨 ・ は之を尊重し此主旨に添ふ は之を尊重し此主旨に添ふ は之を尊重し此主旨に添ふ

お職員起立裡に全會一致可決と政府の所信を述べ採決に入と政府の所信を述べ採決に入

で一旦引返し、同日午後八時四日午後二時四十五分飛行機 新京競闘連の豫定である Ø 1

失職を致しました。おかげで今に、職職の者が、とんだで撃に緊撃してから、

表情にあらはれる反應を確まう

を、田久保は軽めて献語をつ

高村は、電むやうな奥ひを容

田久保は、静沙子と蘇村の前

頭は、臓器へ行つてゐるかも知べてい

切に美濃部博士の自軍を望む天皇機關説問題政友の追撃急

べきかが協議される筈である

種のサービス改善を如何にす

政策をあみ出す、さて何が出英國が香港を根據地に新極東 は公布されたが米國の日本移納州國の外國勞働者取締規則

尊嚴を冒瀆

す

る者は

天皇機關說更

入り解令出澁る由すべて氣分鹽原前關東局秘書官の滿洲國 民排斥とは筋が違ふ

激増便宜主義からでは困る事變以來公學校の入學希望者

の强硬態度決定

置を執れ

夾

◆ 南大 将十一日午後歸京中のところ二十一日正午後歸京中のところ二十一日正午酸一年後來京ヤマトホテル投宿一日正吾氏(京城教員)同人上房銓一郎氏(大連會社員)同、一十一日午前發大連一十二十一日午前發大連一十十日午前發大連會社員)二十一日午前發大連會社員)二十一日午前發大連會社員)二十一日午前發大連會社員)二十十日午前發大連會社員)二十十日午前發大連會社員)二十十日午前發大連合工十十日午前發大連會社員)二十十日午前發大連合工十十日午前發大連合工十十日午前發大連合工十十日午後來京名古屋 れません」

機關の討議を經たる上、廿三日の本會議に緊急上程の事として午後四時散會した、尙提案の理由説明には成るべく鈴木

との意味の强硬な決議案を提出するに決し、原案を作成し、廿二日午前十時より院內總務會に引續き代議士會を開き各

總裁を立たしめる方針であるが、総裁が承知せぬ場合山本悌二郎氏が立つ事とならう

樞府顧

問官

の意向

計 「私は、から云ふ君です」 のわるい髪ひがをしながら、田 が保は、名馴を突き出した。 沙子のはうをかばふやうにして

と、高村は、

はつとして、師

なく、父は、もうすつかり知つ

しかし、お知らせ下さるまで

「それは、御苦勢さまでした。

君はし

ていや、よく御存じのやうでし あはムム」 皮肉な笑みを見せて、

みでなぐ都下各紙へ擦聴の脱稿 で、驚は、わたしどもの範髄の で、驚は、わたしどもの範髄の なりましてな。早速、ポケット すから、非常に、 マネーの中から相當のものを頂 として持続いたしましたもので 「しかし、よく御存じでしたか

近べ次で三上参大博士(無) 大な影響を及ぼす様になっ 大な影響を及ぼす様になっ 大な影響を及ぼす様になっ 大な影響を及ぼす様になっ 限りある人生川夏川静江作 ■■女八人感激時代■■ 最後の切れ (指数 大附条大能) 第一题 # 第 2 第 2 第 3 第 4 第 子

熱河省 **為し営業をなしつゝあり**公司の経営に属し、 六年 孫家灣地方 韓瑞麟名目の 石炭 六年前より採炭其他一切の施設を

契約(官府にて判決せられた)に依り韓瑞麟は該藤區 を他に抵常又は轉質の權利なきを以て特に聲明す 奉天芳記公司

主辨人

# 鐵ツ聯の因縁も

専使丁交通部大臣等を乘せて 接收列車あす哈市

に來賓の 以下日滿官民擧つて參列し、字件美局長その他關係當局主腦部は旣 にハルビンとして丁交通部大臣、日本側から 林滿鐵總裁、西尾參謀長、字佐美鐵路總局長ンでは接收 調印に引續く盛大な祝賀會が開催され、満洲國 からは晴れ の専使それがれてゐる、この日(二十三日)東京での正式調印の式 と同時にハルビ 1-ルビンに向ふはずで、こゝ二十三日の接收を控へハルビンは日満ソ三國人の來賓のため臨時列車を運轉右列車は明 二十二日 午前十時三十 分新京發一路到着、たゞこの歷史的接收の日を待つばかりである、これがため満鐵では特 和な握手交換といもに空前の北鐵景氣に湧き返へるであらう 北鐵の調印!世界の眼は今や、この歴史的また劃期的な大事業の一點に

瀬各局所長會巖は愈よ四月十 【大連國通】電々會社管下全

**られる** 

北鐵

廿三日午前九時

半より開始

一日より三日間大連本社に於 禁に終ける電信電話事業が官 な

と端洲國電信電話とが合ものであり且つ奮闘東廳

併され一元下に置かれて以來

林滿鐵總裁日程

と高材が、幅響なく背後を臓と、いやに腹でるやうな。人と高材が、幅響なく背後を臓と、いやに関ったもまして、こちらのいたときだった。瀬轄寺と思を喰った調子で云った。 かを しょく こう に しょく こう に で に で こう に で に で に で こう に で こう に で こう に で こ に で こ に で こう に で

と、いやに駆てるやうな。人

生じつつある連絡の阻篩。不

新京設臨時列車で州設、二十裁は二十二日午前十時三十分裁は二十二日午前十時三十分

けにその成果は大いに期待さ 統一を改善せんとするもの文 部博士の天皇機關説は

電々最初

局所長會議 0)

でに完了することに變更された 二十三日正午より擧行豫定の北鐵

同午前十一時ごろま

譲渡協定闘印式は

都

の非難に鑑み之が改善及び各 電報に遲配、誤料が増加した は以上の外電々會社出現以來 れて居るが、會議の主要題目

#### 接收!新京驛の 準備全くなる

れが、準備中であるが出札口 なかつた二ヶ所を開け二十三 ▲一番、連絡各等(釜山、大下、改札口、集札口その他そ ので現在閉塞して使用してゐ 医別は次の通り(向つて右から、改札口、集札口その他そ ので現在閉塞して使用してゐ 医別は次の通り(向つて右から、改札口、集札口その他名 をやつてゐたが北鐵接收後は する六ヶ所の出札口の發賣券新京驛では北鐵接收後の旅客 は現在四ヶ所で乘車券の發賣 日から大ヶ所で乗車券を發賣

聞

大

**乘車券發賣口も増加** 

農田、加藤、安藤、岩崎の七委員出席し、國 県田、加藤、安藤、岩崎の七委員出席し、國 で、東京國通」政友會の美濃部學說問題に關す。

界無比の國體を無視し

天皇陛下の尊嚴

を冒瀆する樣な者に對しては速かに

断乎たる措置を執るべし

國體を明徴にし人心の歸一を圖るは國家の急務である、政府は我崇高なる世

國體に關する決議案文に就き協議の結果、大体有志代議士會より進言した決略する委員會は廿日午前十一時より芝三〇亭に於て開會、久原、山本條、前田

### 英國の極東勢力 香港を軍事經濟の根據

曜

金)

然險惡を傳へらる・折柄廿日、エチオピヤ間の窓氣が依

ア國境で エチオピ

又復衝突起る

**・ のみならずシンガポールと相** 

と非常の努力を拂つて居り、

を在支經濟勢力の據點として

の國境に於て再び衝 領ソマリランドとエ

八絹の生産 過剰を憂慮 商工省具体策

ンドを突破するに至り、商工 見生、廉高も本年末に二億ポ 見生、廉高も本年末に二億ポ 的速かに之が解決策を講ず 地からも政府はこの際可及 に於ける禍根を一掃する見 に於ける禍根を一掃する見 地からも政府はこの際可及 て質問者の問はんとする中るも之は消極的答辯であつ 會での答辯は一應首背しべきである、岡田首相の

物盟に

【東京圖通】樞密院は美濃部 をの機な意見が行はれて居る たの機な意見が行はれて居る らう 発を次後に選延するのみで 強を次後に選延するのみで

領ソマリランドの よりの報道に依れば

(東京國通) 美濃部學説の對 陸軍首腦部

**首脳部協議の結果左の如く態** 劉する政府の善處を要望

の明徴に努力するの明徴に努力する 一、日本精神の闡明とその 運にし 政争の渦中へ入る

重にし政争の渦中へ入るを一、外部に對しては態度を慎

闘し林陸相は強て幕僚に

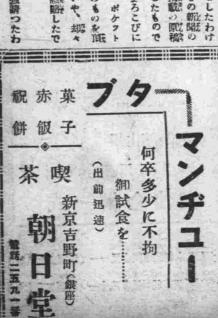
▲濱口幹二郎氏(大阪久和商 中村源三郎氏(大阪官吏)同 ★吉益俊次氏(大阪官吏)同 「中村源三郎氏(同)同 川村博氏(新京橋領事)同二十日午後歸京二十日午後歸京 ないがア

▲ 島田中 將(軍令部島任) 二十一日午前發奉天へ 大島大佐 (駐補海軍部会联 校)二十一日午前發率少佐(新京商業學校配 切ったが 闘することで 「質の、 と、商材は、ちよつと

お酒は度

る、 新賦社の人なんかに用事ば それは、貴下の、御一身上にも ても御何ひしてみなければ、な へたま」、名刺を取らうともせ ますまいが、私の方にはどう いや、貴下のはらには御座い 笑つて見せて、

捌けたお方ですな。 では、僕の父を、



**學校では同校竣成後は毎年百** 設することに決定したので公

公費滯納の

因果は覿面だ

長素

こく改築着手 甘寺愈よ

本券御持参の方

新京日 金

H

聞

者割

壹引座

昨日公會堂理事會の横顔

昨夜着任の川村總領事

右と

参京公學校の本年本業生は高 新京公學校の本年本業生は高 一名合計八十四名、5ち男十 一名合計八十四名、5ち男十 中學堂六、奉天大同學院四、 中學堂六、奉天大同學院四、

の因果は覿面だと飛んだ話題はが廻つたもので、全費増納をと評議一決、それであたら榮

果したものといへの、折角

三月廿二日より三日間

記念公會堂

松旭齋天勝大一座

本劵御持念の方

京

H

本年卒業生

新京市内小學校及び普通學校 まちまちであつたが本年は各 學校長集合いろ/ 協議の上 二十三日に各校一齊に擧行す ることになつた、但し本年度 學校は卒業生がたいので修業 型校は卒業生がたいので修業

会自管に関する件(七件)
一、行政に関する件(七件)
一、行政に関する件(七件)
一、行政に関する件(十件)
一、交通に関する件(十件)
、交通に関する件(十件)
、交通に関する件(十件)
、対象でに関する件(十件)
、対象でに関する件(十件)

如くで行

提案事項

(一○)卒業答辭(一一) 寶祝辭(九)在校生送辭 明

群 (一四) 一同敬禮 の情歌卒業式 (一三) 閉式の の情歌卒業式 (一三) 閉式の

理、四戸副會頭、内海同調 同商工主任、石崎會顕所會 所長、伊藤勸業係長、吉村 所長、伊藤勸業係長、吉村 所長、伊藤勸業係長、吉村 所長、伊藤勸業係長、市野 一路工主任、石崎會顕所會

迅速をモッ

警察の電話改

公學校の入學希望者

豫定の約五倍

等關係者十五名記念公會堂に

正三日間における會

各小學校二十三日卒業式

功積んで

電に 登来の 海偏虚から 事務局 に君板を換へた同事務所ではいよく 本格的準備に取りかいること かなつたがこれが正式通知に接した新京特別市公式通知に接した新京特別市公式通知に接した新京特別市公式通知に接した新京特別市公

興音樂費 八萬圓 三萬圓 三萬圓 三萬圓 三萬圓 三萬圓

品販賣所二一百坪)

変かなスタイル

夏賀を立前に躍進する店

日菊、八島は修業式

(日

證書授與(六)學校長等生の群(三)唱歌國歌君が作の群(三)唱歌國歌君が作

市街の擴張に伴ひ兎角不便を感じてゐた新京署の電話交換感じてゐた新京署の電話交換では今回共電式百回線の新式機械を購入し電々會社にて据って中であるが今月中には完成の筈である、これとともによった。 ち全部新式のものと取りかへ ち全部新式のものと取りかへ いっぱい こう はい こう

て連絡の圓滑をはかること なつた

一百三十九圓の收入年に三百四十四人の

【残吉國通】

溝を襲ふ

を 東事報告(五)卒業 東事報告(五)卒業 の一同敬禮(二)開式

#### 皇帝御訪日を記念 第 日本視察 團派遣 全満各地から六十七名を 収穫を各方面で

廿四日から三日間 全國聯合協議會

相信夫、関少三、安河內哲夫、 同行する、北は滿洲里、一面披 同行する、北は滿洲里、一面披 同行する、北は滿洲里、一面披 所は熟河、滿洲の草深い奥地 から出て来た滿洲人中堅分子 が陽春四月の躍進日本の現實 の姿を親しく観察して持ち歸

第二日 (二十五日午前一、整理委員會經過報告二、會自体に關する議案上程四、於明明 古る議案上程立、稅制に關する議案上程立、稅制に關する議案上程立、稅制に關する議案上程之、稅制に關する議案上程之、發通に關する議案上程之、發通に關する議案上程之、發達に關する議案上程之、發達に關する議案上程之、發達に關する議案上程之、發達に關する議案上程之、是世上程

大衆三個時價五百圓を窃取し 大衆三個時價五百圓を窃取し 長入し毛布八枚、ピロード地 侵入し毛布八枚、ピロード地 侵入し毛布八枚、ピロード地 瀬人に二十圓にて賣却せんと する所を新京署井上刑事孫巡 捕に逮捕された 正信洋行荒し

二十四、二十五、二十六の三第二文全國聯合協議會は來る

一〇、談長及副議長の推薦 一〇、議長及副議長の挨拶 一一、競長挨拶 一一二、理事推薦に關する件 一四、議案整理に關する件 一四、議案整理に關する件 一四、議案を理に關する件

業生のうち上級學校入進むも の奉天鐵路學院三新京工學院 一、吉林同文商業學校一、鐵 領日語學堂一、日本内地學校 十一名、就職者は滿洲側官廳 十一名、就職者は滿洲側官廳

政女學校へ進むも

0

室町小學校尋常科一年二年

廿二日修業式

其他六名。

就職希望者で未

室町

官制の公布で

博覽會本格的

活動

昨夜公會堂で

宣徳達情を目指す協和會

四名である

春季皇靈祭 嚴かに執行

執行されたが極め 民によって二十 勇士慰靈祭

内、附屬地の見學を終へ同日子、南嶺阿戰跡、新市街、城熊本師範學校生七十名は寬城

嶺へ向ひ出酸した で公主 國際 野野 野野 野野 野野 けふの

現大洋對鈔票

彼岸らしい話で、八千代館

十二日午前十時から行はれる る、倚幼稚園の保育證授與は を生の修業式は二十二日午前 に云ひま



たら蔦枝姐さんは れてみれ -代さんがゐるこ

中央通り



南京廿日發國通」南京訪問朝日機南京着 機は廿日午後五時半

各交番の電話も新式に

故宮飛行場に無事着陸し た南

た 気温

ケ年稼ぎ高

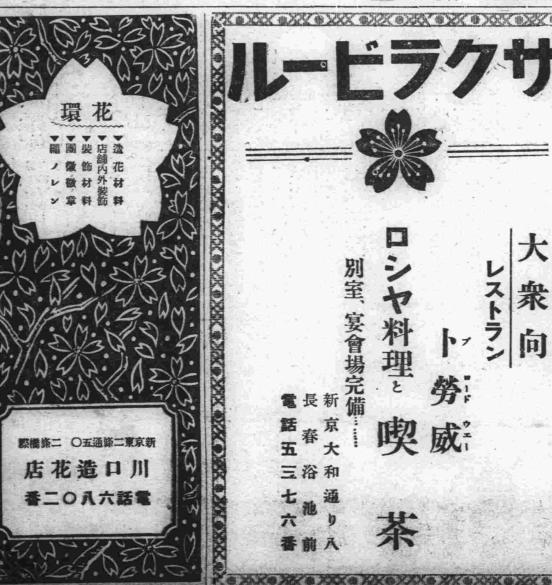
の住屋、南側に約四十坪の庫 理、總坪敷二百坪總工事費約 四萬圓、工事は入札なしで長 香寺の直營、設計監督は早川 銀定である

混合匪百五十

居せる吳義成、史忠恒,董秀(延吉國通)滿ソ國境線に蟠 松旭齋天勝大一二

記念公會堂

田田の 田の大 年 田の大 午後五時五十三分 日の大 午後五時五十三分 日の大 午後五時五十三分 日の大 午後五時五十三分 日の大 午後五時五十三分



包含 天氣晴朗小春日和で早朝よがあつて解散した、當日は

大同

あつた

熊本師範生

戰跡視察

市民競技

サエリー君の はった

時から大同廣場で

行方何處 

て 展儀の 南嶺にお

務係長外多數参拝が

凸 版 版

服ル鞄計

は備準御

雷話四

元六〇



學ド生時セ

蛇角ダ髪 蛇ルマ 菱形金網

ス用手箕・篩

召しておいでだの。」

お眼域にをりますと、只今の女中

思いことは出來ませんぜ。」

を入ればつてからはお歌の郷りと入ればつてからはお歌の郷り

既へですわる」

臨しい歌詞をいつて

ーさア江戸で名高え

車遺失品

**再なるを以て顧慮なく進め** 

て、お客様の前で間違ふってこと

「ヘイ、とんだ粗忽を申しまし

これづ、ほんの二緒口頂いたよけ まて際元!いつ何つてもよう うこれなんですの」

が離イ……れた。即下官 のと関まずに、義理もへちまの臣 たいの窓が出て…… てゐながら好房に、なつてみ

まして、姉と間違へて母時の識り みたいな周章者のウルサ方が窓り なさるかナ。 」 は什層の交際をさせられたので脚

の故臓さんも申されました。」 一へく、それはもく、双生見で でいたがのである。そして、思はせばいたがんで返せば絽脚、美事に突いていたがなったして、思はせば 持つてこさせた三味臓

暗く驚を買ひ占て、 「オットット、 特麗に乾して く

申込は

大原法律事務所へ

太

行 I

五十

余名

0

大

新京日日

日

新聞

祉

鐵

社

會

图引 大 場 本紙 夕刊刷込 本紙 夕刊刷込 本紙 夕刊刷込

主催

天勝後接會

王

松町一六ノニ

新發屯方面閑靜なところ

松

の三十日\*で

で飼は七一に押し度い位

店內新設陳列場

六段久保松勝喜代講師





三、五〇 ニュース (鮮語)
四、三〇 ニュース (鮮語)
四、五〇 ニュース (鮮語)
四、五〇 子供の時間(東京)
お話日本でラデオが始まつた頃 京田武夫
まつた頃 京田武夫
「千の新聞(東京)

▲金子良雄氏(東京府)中央 通り十九番地松村組へ 通り十九番地松村組へ 正から花園三丁目三十五號 ▲浦山省二氏(山形縣)白菊町一丁目五號地陸軍官舎三町一丁目五號地陸軍官舎三十四號へ ◆和田健次郎氏(北海道)入船町四丁目一番地森本アベルトへ

▲小川春彦氏(愛知縣)撫順から入船町二丁目十九番地

▲西岡亮氏白山寮からハルビ

【共七】

雄 (三段)

任宅を求む

商埠地大馬路四九 新京 通 信 社 營業部員二名採用履歷書持参本人來睽身元保證人要ス 周国の事情を考

●四線の人 燃ゆる如き活動
・ ではあれども動けば失敗す
・ ではあれども動けば失敗す
・ ではあれども動けば失敗す
・ では変の人 選むも退くも共
に一離ある日動かざるが勝
・ では変に至り異變を生じ易し
・ では変に至り異變を生じ易し
・ では変に至り異變を生じ易し
・ でまる人 社交上の事は勿
・ ではない事も緊縮が肝要

三月二十二日

代 B 京記念 念 公會等 堂

哈爾賓日日新聞の は電話三九四九番

111

本十八日午後九時着列車三等車内置物フタ桐製 本十八日午後十一時三十分着 列車三等車内氷砂糖入風呂 敷包 本十九日午前六時四十分着列 車三等車内沙離 本十九日午後二時着列車三等 車内砂糖袋入風呂敷包、茶 本十九日一、二等待合室入口 カバン、菓子、ステッキ

●三碧の人

配りて拔目なく働くが吉し三碧の人 取引交際に心を

製んだ積りにても苦ある日●二黒の人 安全第一の道を

と庚が吉

消息

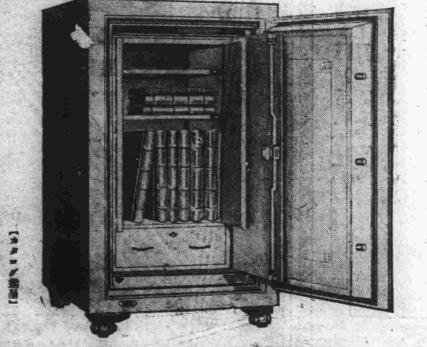
吉 チチスル 頭 原 京 原願族地願 崇滿 大連市吉野町七一 會 寺 Ξ =

▲不得止不参加の節は全額返金 収郷への御歸り 伊勢大神宮各 借入度し事務所向家屋 御 正

**入學記念文字へ** 責任保證付 御進級ノ記念ニ 御時 ナル 計 ヲ

(電話二八五〇番) 内中央通四六 水上洋行 吉 村 E 於 商 て

の年三應慶に實業創!望聲る在に共ピンポツニ進躍



島廣・津清・城京・京新、ソーエチ平熊

理代

行商平

番四二一六•四一〇二話電•通橋本日京新

松風お菊 CIID

こいやだよ、お朔一いくら、 嘘さんと瓜二つだといつ 新 (禁上族) 永田八浦關英太朗畵 文句だけ扱いての競演である。 笑: 九紫作

た 乗唱式の、 越た怪しげな 神田祭 頂献!」 を養太夫のサフリみたいに、いる 飲んでも意支えれえで

先刻。姉の名代で地廻りに飲まさ 一十一一日(金曜)新京 大、三〇 ラデオ 體操(痛語) 大、五〇 ラデオ 體操(痛語) 七、四〇 初等 預語 課 (東京) 九、四〇 經濟市況 (東京) 九、四〇 經濟市況 (東京) 九、四〇 經濟市況 (東京) 10、四〇 經濟市況 (東京) 10、四〇 經濟市況 (東京) 10、四〇 經濟市況 (東京) 10、五九 時 報(東京) 10、五九 時 報(東京) 第二樂章

八、四五 ニュース、 利線さ ニュース、 (本語) 大、四五 ニュース、 類の (本語) 大、四五 ニュース、 類の (本語) の (本語

運氣上向き來る

▲戸上小三郎氏(日本橋通り 二十二番地)四男雅雄さん 十九日出生 一十二番地)二十日午前二 時五十分死亡 十二番地)小松方十六日午 後十一時十分死亡

町二丁目十三番地へがいる。本田中喜太良氏花園町から室がいった。

交響曲第九番

都京寺願本

數十三 發四月 金五拾 を濟し懐しま一回忌法要参拜 九圓日也 間

津、石山、三井寺、伊勢大神戶上陸、京都、伏見、大 神宮、二見、奈良、大阪

商 商店

カイラ

●廣告の御用は電三三○○番へ● 電話三八 ス 靈野



ラメ

カ







(四)

告 廣

0000

東京帝國大學教授

**秦學博士** 

故高橋順

一太

郎郎

氏氏

創協力

案內

哈

爾賓

旅

館際

廿日が二日間脳

神社の差揮





Ξ

